



伊野-INO-

～やっ^みて未^ら来こい！

いの
ENO暮らし2030～



発行：伊野コミュニティセンター

〒691-0072 出雲市野郷町 492-5
Tel: (0853) 69-1526 Fax: (0853) 69-1530
E-mail: ino-cc@local.city.izumo.shimane.jp

伊野コミュニティセンター
ホームページ



伊野地区自治協会
ホームページ



伊野地区自治協会
Facebook



伊野地区情報発信部会
Instagram



伊野コミュニティセンター
ブログ



一伊野地区の人口ー
(R7.10月末現在)

男性… 522人
女性… 550人
合計… 1,072人
世帯数… 403世帯

第9回

いの～んびり

11/9

エントリー170名/当日出走140名/スタッフ約100名

トレイルラン大会

今年も伊野の野山をコースにした「いの～んびりトレイルラン大会」が盛大に開催されました。朝から降り続く雨。スタート時にはようやく小雨になり、選手全員がゴールした頃に晴れ間が見えてきました。悪路の中でしたが、出走した140名全員がケガもなく無事ゴールをしました。

沿道の応援や、手作りの横断幕、有志の方によるエイドコーナー、ちょんぼし伊野いちなどの出店者の皆さまのおかげで、大会がより一層盛り上がりました。また、大会に関わってくださった走路員や運営スタッフの皆様のおかげで、無事に終わりました。本当にありがとうございました！

大会の様子は自治協会HPの【コミセンブログ】にも掲載中です。こちらでもぜひご覧ください！
(伊野トレイルラン実行委員会)



伊野バージョン 逃走中！

参加者58名

10/19

伊野バージョン今年度第2弾は伊野小学校とコミセン周辺を使って「逃走中」を開催しました。ハンター役は島大生で逃げる子どもたちを捕まえます。子どもたちはアイテム見つけてハンターの動きを制御したり、ミッションをクリアして追加のハンター放出を阻止したりと汗だくになりながら一生懸命がんばりました。それでも捕まってしまう子どもは、牢屋へ。でも大丈夫！牢屋で脱出ミッションをクリアすれば再び復活することができます。3回捕まって3回脱出した子もいましたよ。

たくさん動いた後はBBQ！みんなお腹がすいているので、焼いても焼いても魔法のようにお肉が消えていきました。炭火で焼いたお肉はとっても美味しかった～！

次の伊野バージョンは2月11日の予定です。みんな参加してね！

(コミセン自主企画事業 まちづくり部)





11/2

第45回

文化祭 大盛況!!

今年で第45回を迎える伊野地区文化祭。6月から実行委員会を立ち上げ、本番に備えてきました。天候が心配されましたが当日は朝少し雨が降ったもののその後は止み、時折晴れ間も出る絶好の文化祭日和となりました。今年は屋外にワークショップ、ゲームコーナー、飲食物や手芸品の販売などの屋台が多数揃い、中でも高所作業車の乗車体験が大人気。子どもたちだけでなくシニアの方も誘い合って乗車しておられました。また、コミセン館内では健康コーナーや地区の皆さんの力作が揃った作品展示、体育館ではダンスや西地合こども神楽、向陽中吹奏楽や未来こい! ネットの発表、もちまきなどが行われ、大勢の観客で賑わいました。恒例の抽選会には地区内外から400名以上の来場があり、会場は満員御礼となりました。毎年この文化祭に里帰りて来てくださる方、家族や親子、友人・知人と一緒に楽しそうに会場を回っている皆さんの姿を見て、実行委員一同喜びました。

来場者の皆様、関係者の皆様、ありがとうございました。

(伊野地区文化祭実行委員会)





いのち救う伊野FR隊

平田消防署からのお知らせです。先日、伊野地区FR（ファーストレスポonder）隊の活躍により、命が救われる事案がありました。自宅で心肺停止になった方に対し、家族とFR隊員による適切な処置が行われ、一命を取り留めました。FR隊は救急車が到着するまでに応急手当をおこなう組織です。FR隊と消防署が連携し、定期的に救急法講習を開催しています。次回は12月14日（日）に伊野コミセンにて開催予定で、どなたでも参加可能です。身近な人の命を救うために救急法講習を受講しましょう。また、FR隊員も随時募集中です！

（おたずね平田消防署TEL63-5519）



島大医学部地域看護学実習

9/1~4 5名受入

島根大学医学部看護学科の一回生は、毎年前期終了後、地域の生活の状況を看護の視点から観察する「地域看護学実習」を行っています。今年も昨年に続いて5名の学生が9月1日から4日の間、伊野コミセンを拠点に地域の様子を学習しました。期間中ブンブンズやひまわりの会への参加、伊野本陣の見学や光丸商店ヒアリング等を実施。ご協力頂いたみなさん、大変お世話になりました。

（センター長 福田）



和ハーブ観察会とクッキーづくり



8/22

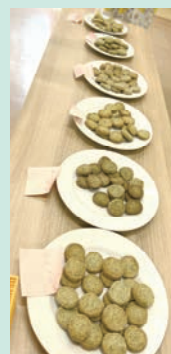
9/30

10/15

参加者
延べ43名

自然を楽しむ会ブンブンズでは、8月に野草を使ったスイーツ作りに挑戦。これまでに収穫していたドクダミ、アカメガシワ、ハマゴウ、和ハッカ、カキドオシ、マタタビを使い6種類のクッキーを作って試食しました。また、9月には栽培していたカワラケツメイと柿やビワの葉を収穫し、茶材を集めました。10月には伊野環境保全連合会と共催し、和ハーブ協会理事長の古谷暢基氏を講師に迎え、野草観察会を開催。植物それぞれに特徴があり、有用な使い方があることを教わり一同ますます和ハーブの魅力に盗りつかれました。今後も様々な活動を行う予定です。

あなたもブンブンズに入りませんか？興味のある方はコミセンまで。
（自然を楽しむ会ブンブンズ）



10/17 いいぞ！伊野いち

今年2回目となる伊野いちとは、今回もいい天気！会場はたくさんのお客さんで賑わいました。オープニングは恒例のいのちの子たちによる合唱。伊野いちを盛り上げるべく今回も元気いっぱい



来場の皆様に笑顔で歌と踊りを披露しました。小学生の焼き芋も大好評。他にも新米や柿など旬の野菜や果物、鮮魚に本など多彩な商品が並び伊野いち。中でも人気はおもてなしコーナー。新米の塩むすびと漬物、あおさ汁で心も体もほっこり。次回は来年6月に開催予定です。お楽しみに。



おじいちゃんたちと 凧を作って遊ぼう！！

10/24

参加者12名

おじいちゃんたちと遊ぼう！第2弾！！今回はお正月に向けて、凧（たこ）作りをしました。作った凧

は、六角形のぐにやぐにや凧と、ひし形のダイヤ凧の2種類作りしました。型紙に合わせてビニール袋を切って、好きな絵を描きます。竹ひご・たこ糸を付けたら完成です！竹ひご・たこ糸をつけるのは難しく、おじいちゃん先生につけてもらいました。完成をしたら校庭へ移動して、凧あげをしました。自分の作った凧をみんな嬉しそうに飛ばしていました。



（伊野地区青少年育成協議会）



出雲市青少年育成推進大会～事例発表～

11/16

出雲市青少年育成市民会議主催で開催された「出雲市青少年育成推進大会」にて伊野地区の事例発表を行いました。平成27年度に作成された「伊野ふるさとかるた」、平成28年から現在も続く「かるた大会」、令和5年度に作成された「伊野ふるさとかるたすごろく」について発表を行いました。山崎会長の熱い想いと、伊野地区での取り組みについて、他地区の皆さんにお伝えする事ができました。

「伊野ふるさとかるた」と「伊野ふるさとすごろく」はコミセンで販売しております。
（伊野地区青少年育成協議会）



やって未来こい!通信

続報

8/31

プチわくわくひろば

×みんなのじかん 参加者50名

ino.ti~中山間地域の未来へ~の皆さんと一緒に、今年度第1回目の「みんなのじかん」を開催しました。昨年の12月に室内で開催した「絵の具遊び」を、今回は屋外で開催しました。前回室内で開催した時は、筆やスポンジで絵を描いていましたが、屋外という事もあり、手を使ってダイナミックに絵の具遊びをしている子もいました。この日は暑い夏の日、美味しい出店コーナーで休憩したり、骨盤調整で休憩をしたりと、皆さん思い思いに時間を過ごしました。

次回の「みんなのじかん」は12月7日に開催予定です。クリスマスグッズを作って楽しみましょう!大人も、子どもも楽しめるような「みんなのじかん」を過ごしましょう。皆さまのご参加をお待ちしております!

(子育て支援部Xino.ti~中山間地域の未来へ~)



10/15

宮崎県小林市議視察団来訪 7名受入

小林市では現在人口減少に伴う学校再編の議論を進められています。そのため、小学校の存続を選択した伊野地区の活動に注目され、今回「文教委員会」担当の市議7名の方が視察に来られました。伊野地区が小学校存続を決めた経緯や、その後の学校や地域の状況について、未来こい!ネットのメンバーから説明。党派を超えた委員会の皆様は真剣な面持ちで傾聴され、また深く感心される場面もありました。(センター長 福田)



10/22

つながるまちミーティング

~講師 山崎亮氏~

参加者85名

アドバイザーに山崎亮さんを迎え、未来こい!ネットのこれまでの活動報告と今後の課題、これからの在り方について皆さんと話し合いました。当日は中学生から高齢者まで地区内外から多数の方が参加してくださいました。亮さんのお話の中で特に印象に残ったワードは「愉悦」=「楽しさをまわしていく」でした。まちづくりの根底はそこにあるのかもしれませんが。参加者の皆さんから多くの感想やご意見をいただきました。「多様性(人それぞれの力)を使って伊野のゴールに向かっていくことが大事だと分かった。そして、楽しさを中心に政策を進めていけば伊野の未来は少しずつ見えてくるのでは、と思った。」という感想もいただきました。これからの伊野の未来について、みんなで一緒に考え、楽しさを共有していきましょう。



向陽中 1年生 清掃奉仕活動

9/11 9名来館

伊野地区出身の向陽中1年生9名が、地域貢献活動の一環でコミセンを来訪。玄関掃除やスリッパ拭き、草取りや花壇の整備をしてくれました。生徒の皆さんからは「一人では大変なことも皆で協力すると短時間でできる」「地域の人々が利用する場所を綺麗にできて嬉しい」「これからも地域活動に積極的に参加したい」と言った感想が聞かれました。

皆さん、綺麗にしてくれてありがとうございました。

また遊びに来てくださいね。



伊野ふるさと探訪 Part42 ~番外編~

いちりづか「一里塚」

一里塚は江戸時代に街道の距離の目印として一里毎に置かれていました。街道の両側に盛り土をし、松の木を植えていました。池尻家文書によれば伊野では三本松御立山内にありと記されています。この地は古からの伝えでは今の翠苑の辺りだと聞いています。東は秋鹿の平松、西は多久の大慶寺辺りにありました。注)一里は36丁で約3.92km。1丁は約109m(60間)。

(郷土誌研究会 常松 士郎)



写真はイメージです

10/21

環境美化活動御礼

コミセン前のプランターに三ノ谷サロンげんき会の皆さんがパンジーとビオラの苗を植えてくださいました。毎年げんき会の皆さんには文化祭前にキレイにしていいただき、感謝しています。文化祭当日は玄関が明るく華やかになりました。ありがとうございました。

